

人・まち・自然を大切に 高梁の創造のために

近藤市長が所信を表明



所信表明する近藤市長

12月定例会市議会が5日開会され、近藤市長が就任後初の所信を表明しました。

「人・まち・自然を大切に
高梁の創造」に取り組む市政方針を示し、具体策では「がんばろう高梁」を合言葉に3つの戦略を述べました。

はじめに

新たに市政を担当することになりました私の決意と所信を申し述べ、議員各位ならびに市民の皆さまの格別のご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。

去る9月28日の高梁市長選挙におきまして、高梁を変えようと訴え、市民皆さまの信託をいただきました。私にはその信託に応える責任があります。

今、この議会議壇上に立ち、改めてその重責に身の引き締まる思いであり、皆さま方のご期待に応えるべく、郷土高梁の発展のため全身全霊を傾けていく所

存でございます。

私は、ここ高梁に生まれ育ち、27年にわたって高梁市の職員として行政の一端を担ってまいりました。その中で、市政の現状に矛盾や多くの問題点をひしひしと感じておりました。

そのためにマニフェストを掲げ市長候補となり、高梁市の再生を目指していかうと市民の皆さまに強く訴えてまいりました。

このマニフェストは「人・まち・自然を大切に
高梁の創造」のため、今後取り組むべき主な施策について市民の皆さまへのお約束としてお示したものであり、若きと行動力、市民の皆さまとの協働によって、着実に実行していく決意でございます。

ます。

市長選挙の準備を進めていた最中の9月15日、全世界に激震が走ったリーマン・ショックが起き、百年に一度ともいわれる世界的な金融不安が広がりまして。

このため、景気の見通しは非常に厳しい局面を迎えています。すでに、市内の企業にも直接の影響が表れており、今後の市政運営にとつて、財政の見直しを含め、新たな課題として注視していかなければならない大きな問題と認識しております。

今日、わが国においては人口減少、本格的な少子・高齢化社会の到来により、労働人口の減少、地域活力の低下など幾多の問題が生じております。

本市におきましても、人口の減少は続き高齢化率は県下15市中トップの35.6%(平成20年10月末現在)と、県下平均の23.6%(平成19年9月末現在)を大きく上回っている状況であり、農業の衰退などさまざまな問題が生じてきております。

一方、国・地方を通じた深刻な財政状況の下、本市において

も行財政改革を進めているところでありますが、平成26年度に合併特例期間が終了し、平成27年度からの5年間で、普通交付税が約20億円の削減となる見込みであります。

しかし、こうした状況の中でも、行動を鈍らせ、何もできないとあきらめるのではなく、厳しい格差社会、自治体間競争の中で埋没しないためにも、市民ニーズや時代の変化に的確に対応し、確かな市政運営を積極果敢に進めていかなければなりません。

3つの政策理念

次の3つの政策理念をもって「人・まち・自然を大切にする高梁の創造」を進めてまいります。

1. 新たな発想で、市役所内の既存の概念を打ち壊す

市民の皆さまと総力を挙げて市勢振興を図っていくためには、まず市役所職員の意識改革が求められると思います。職員の無気力感や閉塞感をこ

れまで感じてきており、まず職員の意味が変わり、職場内の意思疎通の仕組みを再構築し、風通しのよい職場環境づくりが必要だと思っております。

また、職員の考えや仕事内容を共有し、お互いの立場を理解し合えるような仕組みが必要ではないかと思えます。時に応じて私も各職場での意見交換などを進め、今後政策等に生かしていきたいと思っております。

「これはできない」から「どうしたらできるか」という可能性の発想を醸成し、市民のニーズや世の中の変化に前向きに対応してまいります。

こうした発想で既存の概念を市役所内部から変えていき、新しいものを創り出していく、「高梁も、まだやればやれる」という機運を市内に起こしてまいります。

2. 高梁市民が総力を挙げて、高梁の未来を創り出す体制を早急に整える

高梁市を再生していくためには、全市民のマンパワーが必要で、私は、「市民力の結集」を

最も重要な政治手法としていきたくいと考えております。そのためにも私自身が市民の皆さまに率直に問題を問ひかけ、声を聞かせていただきながら、皆さまが自らの力を発揮していただける場面をつくってまいります。

3. 高梁の潜在能力を引き出し、活性化を図る

高梁市は、多彩で魅力ある歴史、伝統・文化、教育、産業などさまざまな潜在能力を秘めたまちであると確信しております。これらの資源を掘り起こし、生かしていきたくない能力を引き出し、市民の皆さまとともに知恵を出し、汗をかきながら、高梁の再生とまちづくりなどの活性化に市民の皆さまのお力をいただきながら取り組んでまいります。

以上が、今後4年間の市政運営に当たる私の基本的な考え方であり、活力ある高梁市の再生に向け、議員各位そして市民の皆さまと地方分権の時代を共有しながら、着実な歩みを進めてまいります。